

校内研修「問い続ける子供の育成」

「校内研修」とは、学校の課題解決や教員の指導力向上を目指して、同僚の先生方とともに学校組織の中で行われるものです。先生方がお互いの授業を参観し合い、協議を重ねることによって、指導力が高まり、同時に学校の組織力も向上します。

本校では、令和2年度より「問い続ける子供の育成」を研究主題に掲げ、校内研修を通して問い続ける子供を育てるための具体的手立てをさぐっています。今年度も、先生方一人一人が研究シートを作成して学年ブロックや研究ブロックで検討し、全学級が提案授業を公開しています。また、提案授業の後にはお互いの意見を交換し合っています。この他に、指導主事の先生をお招きして、指導・助言をいただく要請訪問も計画されています。

それぞれの先生が提案する指導の工夫は、大変参考になるものです。先生方は、各自の授業改善に役立てようと、毎回大変熱心に参加しています。これからも、お互いに学び合い、高め合う教師集団を目指します。



エコキャップ運動への御協力に感謝

本校のボランティア委員会（児童会）では、昨年9月より、「エコキャップ運動」に取り組んでいます。各家庭や地域の方々よりたくさんのご協力をいただき、感謝しております。子供たちが持ってきたキャップは、各階にあるボックスに集めています。玄関ホールにあるケースは、地域の方からいただいたキャップでいつも山盛り状態になっています。

エコキャップ運動により、リサイクルの促進、CO2の削減はもちろんのこと、その売却益で世界の子供たちにワクチンを届けることができます。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

※ペットボトルのキャップは洗って持ってくるように指導しています。



災害等緊急時のために



本校では、危機管理マニュアルを整備し、毎年見直しを行いながら、想定される危険にどう対処するか全職員で共通理解を図っています。

さて、最近では、日本各地で雷雨や短時間の記録的大雨などが頻発しています。また、自然災害の他にも、不審者事案や熊の目撃などの情報も多く、子供たち自らの意識や対応能力、安全教育に関する先生方の指導力を高めることが課題となっています。万が一このような災害や事件・事故が発生した場合、学校は保護者の皆様へお子さんを安全に引き渡す措置をとる場合があります。緊急時に、お子さんを確実に引き渡すことができるようにするため、本校では「引き渡し訓練」の実施を予定しています。実施日時が決まりましたら、訓練の想定や引き渡し方法など詳細について改めてお知らせいたします。災害発生時には学校周辺の渋滞も予想されます。安全でスムーズな引き渡しができますよう、保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

連載コラム 公子の部屋

黒石東小学校に来て嬉しかったことがいろいろあります。この前は、子供から手紙をもらいました。なんと男子、しかも高学年です！「校長先生これらもよろしくお願いします。好きな色は何ですか？」のような内容です。今まで手紙をくれるのはどちらかというと女子や低学年が多く、また、手紙にはバラのシールなど貼ってあったものですから「おーっ！」とテンションが上がりました。その子は手紙を書くのが好きらしく、給食員さんにも「いつもおいしい給食ありがとうございます。」という手紙をくれたりするのだそうです。給食員さん達も喜んでいました。今はメールが主流の世の中ですが、手紙ってメールとは違った温かさがあるものですね。

そういえば、私が若い頃は、雑誌の後ろに「文通しませんか」コーナーがあって、例えば「犬の好きな人、手紙待ってまーす。」というメッセージと氏名と住所が書いてありました。個人情報丸出しで、今では考えられないことですよね。この話を読んで「そうそう、懐かしい！」と思う人は何歳以上の人でしょう。小学生の頃、私もそれを見て、手紙を出したら、返事が戻ってきてとても嬉しかったです。ハガキと違って、手紙をあけるドキドキ感っていいですね。でも、口うるさい母親が「なんで愛知からあなたに手紙が来るの？だれ？この人？」などと追求されました。文通しましょうコーナーの人に手紙出したと言ったら、「なーに。それ！」のような冷やかな反応が返ってきたのと、書くこともなくなって、あえなく2回のやりとりで撃沈したのです。手紙も電話も親の監視下にあった昔の話です。今は、自宅にダイレクトメールしか来なくなったなあ……。それだけに、子供たちからもらう手紙って大変貴重です。